

人と機械の共存に向けて

～ R P A の導入と計画～

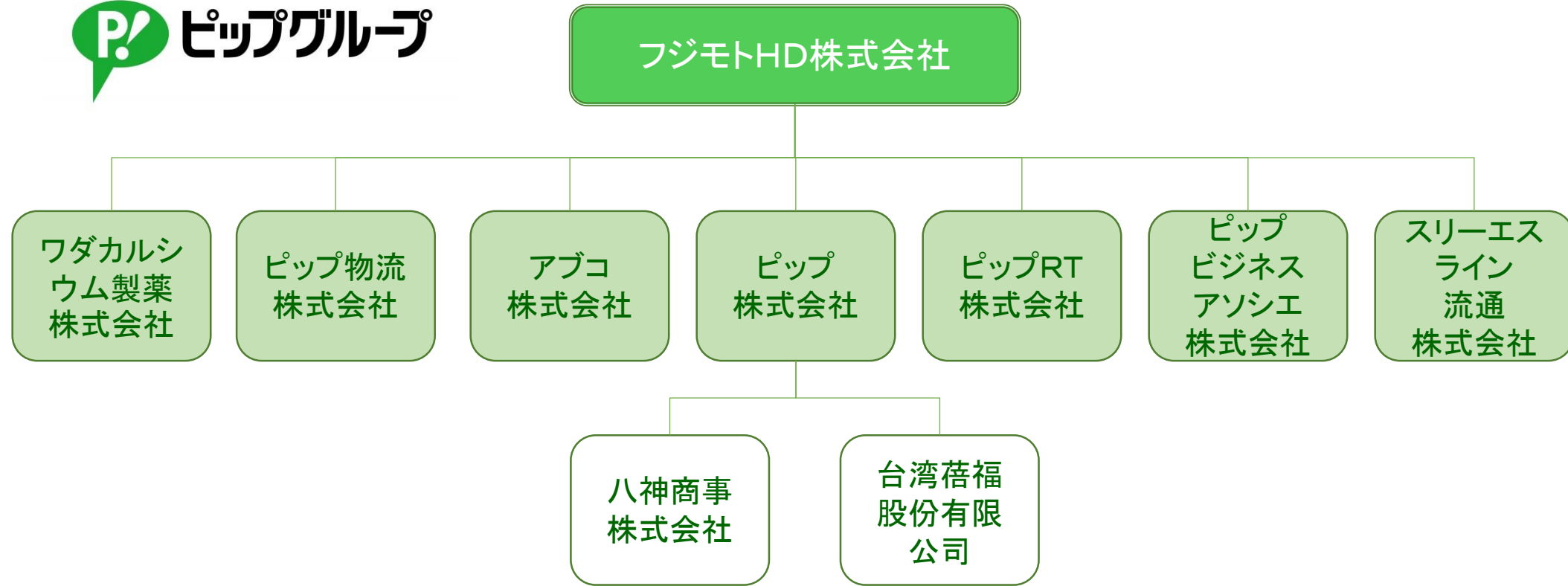
フジモトHD株式会社
情報システム室 企画管理担当
塚本 隆広

1. 会社概要
2. R P A導入と計画
3. まとめ

フジモトHD株式会社とは

- 設立 2008年5月1日
- 資本金 20億円
- 連結売上高 2,122億円 <2018年度実績>
- 従業員 1,321名 <2018年10月末>
- 主な事業内容
 - ・健康な暮らしを支える「メーカー事業」
 - ・メーカー様と小売業様をつなぐ
「リテールサポート事業」
 - ・サービス事業

1. 会社概要



THE WELLNESS COMPANY

(人々の身心の健康に貢献する企業)の実現を目指します。

1. 会社概要

取り扱い商品は医薬品、健康商品など

ピップイレキバン



ピップマグネループ



ピップ内服液EX



SLIM WALK スリムウォーク



ProFits スロ・フィッツ



STRETCH LINE.



ヘルスオイル



各製品サイト <http://www.pipjapan.co.jp/products/>

2. R P A導入と計画

R P A（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは

人間に代わってパソコンを使って行う手作業（業務システム処理・E X C E L加工など）をロボットが正確に自動で行ってくれるソフトウェア



自動で実行



代行可能な作業(例)

入力・登録

集計・加工

検索・抽出

データチェック

ダウンロード・
アップロード

WEB
クローニング

2. RPA導入と計画

RPA導入を考えている人におすすめの本は

- ・「RPAの威力 ～ロボットと共に生きる働き方改革～」



どうしてこんなに
RPAが流
行ってるの

導入した企業
事例は

どうやって導入
をすすめたら
いいの？

出版社: 日経BP社 著者: アビームコンサルティング 安部慶喜

導入の背景は

- 将来的な人手不足の解消
機械による自動化を促進
- 労働集約型ビジネスからの脱却
I Tを活用した働き方改革の取り組み
- 業務コスト削減
オペレーション業務を軽減し、品質向上を目指す
- 創造性を発揮できる人財育成
付加価値の高い仕事ができる環境作り

2. RPA導入と計画

プロジェクト検討より最終的に専任組織を立ち上げ本格導入へ

18年3月

18年5月

18年7月

18年9月

18年11月

19年1月

19年3月

★ 3月中旬
IT活用プロジェクト
キックオフ

①

対象業務の
洗い出し

⑤

ロボット開発
(19本、月間220時間)

⑥

ロボット開発を実施中
(55本、月間79時間見込)

②

RPA
製品検討

③

トライア
ル

④

7月中旬
クライアント型導入

⑦

12月下旬
サーバー型導入

⑧

自動化運用開始

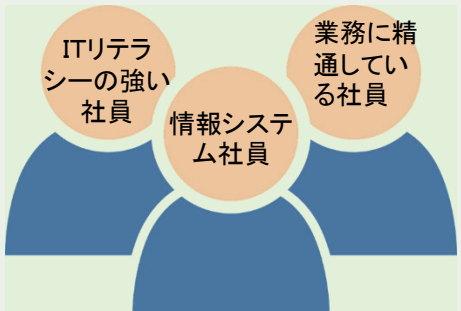
2. RPA導入と計画

各作業工程におけるポイント（3月から7月初旬）

工程	作業内容	ポイント
①対象業務の洗出 3,4月	RPAを理解した上でメンバー5名が自部署の対象業務を調査。 期間は2週間、調査内容は①部門②業務名③時間④頻度⑤拠点数⑥月間業務時間⑦メリット⑧デメリット⑨自由記入 結果：実現不可も含めて5部署の調査結果（84業務、年間34,000時間）	・短期間で集中的に一斉 ・業務棚卸を意識しながら実施
②製品検討 3,4月	製品情報を幅広く収集し、7社より比較検討。選定基準は 1. ロボット開発ツールが素人でも使いこなせる操作性、日本語対応 2. 問い合わせができる充実したサポート体制 3. 費用 より2社に絞り込み。	・選定の優先順を明確に ・開発が容易だと早く育成できる点も重要
③トライアル 5,6月	製品決定に向け2社の操作研修や手厚い開発サポートを受けながら、期間限定のトライアルを実施した。比較的に開発しやすい効果の高い二つの作業を選んでロボットサンプル開発を行い評価しました。 <u>最高の品質と最大の効率を追求するためにはRPAは欠かせない</u>	・内製化できるか ・WEBシステムとの相性 ・直感的な操作性とサポートが決め手

2. RPA導入と計画

各作業工程におけるポイント（7月初旬から10月末）

工程	作業内容	ポイント
④RPA導入 （クライアント型） 7月	1社に絞り、費用対効果を考えスピーディーに対応でき安価なクライアント型を2台を購入、仮想基盤上に導入。1台は開発用、1台は実行用と分け、各部署担当者がスケジュール予約しながら開発作業とロボット実行できるように構築。	・モチベーションを下げないように導入スピードと費用対効果を考える
⑤ロボット開発 （プロジェクト主体） 7～10月	メンバーがロボット化したい作業を選定し、ロボット開発開始。開発作業を停滞させないために、定期勉強会を開催、ロボット開発研修動画を作成しスキルアップを急ぐとともに、開発時のつまづきをできる限り取り除くために迅速な開発サポート体制を作り開発を実施しました。 成果：4か月でロボット19本、月間220時間の削減 プロジェクト終了後も現場主導でロボット化をすすめるにはガバナンスが必要。	・削減効果の高くかつ比較的開発し易い作業を選ぶこと ・プロジェクト体制が決め手。 

2. RPA導入と計画

各作業工程におけるポイント（11月から現在）

工程	作業内容	ポイント
⑥ロボット開発（専任組織主体） 11月～	RPAコンサルタント業務の推進部署を立ち上げた。 当年度は経理・人事などのバックオフィス業務のロボット化を目標に、現場の導入運用サポートを実施。運用定着に向け管理強化についても検討を進めています。 成果：19年4月末時点のロボット開発完了見込は70件	・リスク統制・管理の方向性をしっかりと決め、詳細は開発を停滞させないように平行で進める
⑦RPA導入（サーバー型） 12月下旬～	業務自動化の推進スピードを上げるため、4か月前倒しでサーバー型を導入。複数人／部署でのロボット開発が可能となり、現場での開発意欲・生産性があがりました。ロボット実行待ち時間も少なくなり、ロボットの時間外実行（スケジュールによる早朝・夜間対応）も可能となりました。	・ロボット管理は必要最小限で ・お互いのロボットや取り扱いデータが覗かれないように配慮
⑧自動化運用開始 1月～	ロボットの承認フロー、管理面を強化し、自動化運用を開始。 現在は、成功事例の水平展開に向け、効率的なロボット開発やノウハウ共有など推進活動を行っています。	現場の改善モチベーションを維持できるように上手にサポート

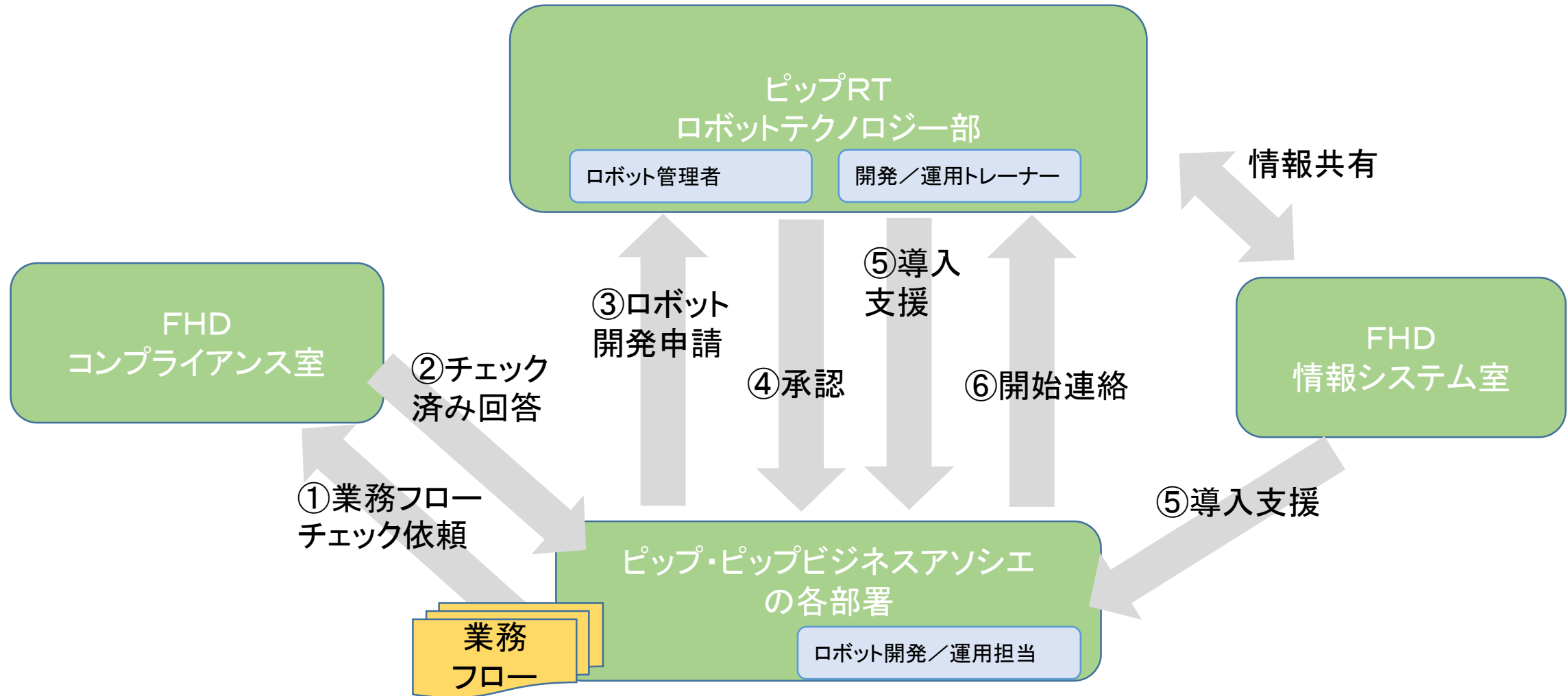
2. RPA導入と計画

効果は、業務時間削減と社員のロボット開発スキル向上

対象業務	作業内容	効果 月間削減時間	効果 ロボット本数
売掛業務	・お取引先様の支払い明細情報を、定期的に指定されたWEBサイトよりダウンロードする作業 ・新規お取引様の請求情報を登録する作業	26時間	7本
買掛業務	・お取引先様からのメールによるご請求明細情報をシステムへ取り込む作業	88時間	3本
経理業務	・お取引先様からの振込入金情報をシステムへ取り込む作業 ・社内経費申請の確認作業やメールで連絡する作業	35時間	4本
営業物流 事務業務	・お取引先様からの注文を物流センタへ出荷依頼する作業 ・各営業・物流拠点に前日仕入した伝票を発行する作業 ・物流センタ在庫情報をダウンロードする作業	67時間	5本
合計		216時間	19本

2. R P A導入と計画

R P A推進にはリスクを考慮したガバナンスが重要



今後に向けて

【課題】

- 導入・運用部署のサポート
ロボット開発が停滞しないような支援・体制強化
- 導入・運用スピードの向上
効率的なロボット作成の推進、ノウハウの蓄積と共有
- コンプライアンスのルール構築
業務標準化に必要な詳細ルールを検討

【将来】

- A I 搭載 O C R による紙データのデジタル化を推進し R P A と組み合わせたい

R P A導入でわかったこと

■ R P Aは最高の品質と最大の効率を目指すために欠かせないツールである

- ・ ロボットが正確に作業をするのでミスも減り、業務時間も減った
- ・ 今後業務を教える、覚える時間も減り、間接効果が大きい

■ 社員の考え方・働き方が変わりつつある

- ・ 属人化を排除できるようにロボットに任せることを考え始めた
- ・ ロボットを開発する強い意欲が沸いてきた
- ・ 改善意識が高まりロボット化以外にも目が向くようになった
- ・ 本来やるべき重要な仕事に時間をかけられるようになった
- ・ 仕事に対するやりがい・モチベーションアップにつながった

人と機械の共存に向けて

企業は、労働人口減少による環境の変化に臨機応変に対応しないと、企業自体の存続が危ぶまれます。

そうした中で、最高の品質と最大の効率を目指すためには、手段として新しい機械（I T）を上手に利用して、働き方を見直すことも必要です。ならば人がやること、機械がやることをきっちりと分けて考え、人は創造性を担う仕事、機械は生産性を担う仕事と、区別できる環境が必要です。

その上で人は新しいことにチャレンジすることを恐れず、失敗してもそれを加点と評価してもらえる社内の風土改革が必要であるし、つまづいた時に支えあえる縦横のつながり、コミュニケーションが重要です。

未来の社会に向けて、人が今よりも機械と上手に付き合い、会社も人も成長できる人財育成が求められていると思います。

ご清聴ありがとうございました